

頭蓋底骨髄炎の画像診断に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年12月3日～2020年3月31日

〔研究課題〕

頭蓋底骨髄炎の画像所見に関する検討

〔研究目的〕

頭蓋底とは脳そのものを下から支えている骨構造で骨髄が内部にあります。この頭蓋底に、耳の外側や、まれに副鼻腔の炎症が原因となって炎症が波及して、耳～頸部の痛みや神経症状、炎症が続いて長期の感染症となり重篤になることがあります。また頭蓋底の近くには咽頭の上部があり、ここに生じる上咽頭癌と画像所見の鑑別が難しいです。本研究の目的は、頭蓋底骨髄炎の患者さんの画像所見を検討することでその特徴的な所見を同定し、悪性腫瘍との違いを明らかにしようとすることです。

〔研究意義〕

頭蓋底骨髄炎の画像所見を検討し、これらをまとめてその結果を学会や論文にて発表することは、今後の同様な症例をより正確に診断することへの一助となります。ひいては治療法の選択にも一助となると考えられます。

〔対象・研究方法〕

対象は、診療目的にて臨床的に確定診断がついて、頭蓋底炎の患者さんです。それぞれで診療目的にて臨床的に撮像されたCTおよびMRI画像のそれぞれの画像を放射線科医が検討、合議して、その特徴的な所見を見出します。治療開始後の経過観察で行われた追跡の画像についても検討します。対象となる期間は2011年4月から2018年9月です。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部放射線科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

研究の対象資料の主体は、臨床的に撮像されたCT、MRI画像および資料の後ろ向き検討です。データの収集、管理にあたり、プライバシーを保護し、調査結果の管理には万全を期し、対象の資料、画像における個人情報は匿名化し、他所に漏れることがないように細心の注意を払います。

〔その他〕

画像を用いる後ろ向き研究なので、患者様への負担はありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 松田めぐみ 助手

研究分担者： 豊田圭子病院教授 大場洋主任教授 住田薫助教 山本麻子講師 櫻井圭太准教授

住所：東京都板橋区加賀2-11-1 帝京大学医学部放射線科学講座

TEL:03-3964-1211 [内線 49321]